

## 令和6年度（2024-2025）7月商工会理事委員会 議事録

日 時：2025年7月16日(水)12:00-13:45  
会 場：三水会センター会議室  
出 席 者：17名(うち名誉会員1名、理事委員13名、代理1名、オブザーバー1名、  
事務局長1名)  
欠 席 者：4名(うち会長委任4名、代理委任0名)  
司 会：東 遼佑 幹事

### 1. 商工会会長連絡（濱田 哲 会長）

#### \*大規模災害への備えと連携の重要性

7月4日に発生した大規模な洪水災害について、未だに非常に大きな影響がある。過去にもメキシコでの停電や交通混乱、ニューヨークなどでの災害増加があったことから、各社で緊急事態への備えが行われているものの、商工会と領事館との連携がより重要である。また、自社の社員の緊急事態発生時にも、会社としての対応に加え、総領事館や日系企業(全日空)のサポートが大変役立ったことに感謝申し上げる。予測不能な災害を含む事態において、ネットワークの重要性を改めて感じた。

#### \*国際情勢の不透明感と企業連携

現状、貿易や関税問題が政治や国際紛争のツールとして利用されるようになり、将来的な影響予測が困難になっている。不透明感が高まる中、商工会のプラットフォームを通じて企業間で連携し、サポートし合うことが重要性である。

#### \*ジャパンフェスティバルへの協力

9月に開催されるジャパンフェスティバルが、今期の最大かつ最終イベントであり、JASH と協力して成功に向けて尽力したい。

### 2. 総領事館連絡（長沼善太郎 総領事）

#### \*テキサス州の災害状況と邦人保護について

近年テキサス州での自然災害が激甚化している状況を踏まえ、在留邦人の安全確保が重要である。特に現在はハリケーンシーズン中であり、7月初旬の洪水については、「テキサス史上最大級の被害に近づいている」とも報道された。災害時の対応として、ヒューストン市の「Office of Emergency Management(緊急対策本部)」と連携を取っていること、また、避難が困難な方々の場合は、事前に登録することで自然災害等の際に助けに来てもらうことが出来る。そういった意味でも在留邦人の把握を事前に行っておくことが重要である。現時点では該当者はいないとのことではあるが、転居や家族構成の変化もあるため、在留届の提出・更新と、総領事館への緊急連絡先の登録を改めてお願いしたい。

#### \*ランディー・バス氏の叙勲伝達式と交流イベントについて

7月18日(金)に開催される叙勲伝達式について、各関係者を含め、多数の方々のご出席する予定である。ご出席者の皆様に感謝申し上げます。バス氏には、東日本大震災の際のボランティア活動をはじめ、さまざまな日米交流に貢献して頂いている。今回の叙勲はその功績を称えるものである。今回は、オクラホマ州からも商務長官などが参加予定であるので、オクラホマとの経済交流の場としても活用していただきたい。

### 3. 幹事報告（東 遼佑 幹事）

#### \*次年度役員等改選関連について

今期の理事委員の任期は9月末をもって終了し、10月からは新しく次期体制が始まる。先立って、理事委員会においては、役員(会長、第一副会長、副会長、幹事、副幹事)、各委員長、特命理事で構成される体制の見直しを行う。このうち、役員に関しては立候補による選挙を実施する予定である。役員選挙は、8月27日の常任委員会にて行われる予定で、常任委員の皆様にご出席いただく。該当する役職に立候補される方は、所定の期間内にご応募いただく流れとなる。

スケジュールは以下の通り:

- 7月25日(金):常任委員の皆様に向けて、立候補のご案内および8月27日開催の常任委員会のご案内を配布
- 8月8日(金):立候補の締切
- 8月27日(火):常任委員会にて役員選挙の実施

なお、補足として、役員改選における選挙は、例年、立候補者が1名の場合は信任投票の形式で行っているので予めご承知おき願う。

#### 4. JASH 対応 (石川隆次郎 特命理事)

##### \*ジャパンフェスティバル 2025 の支援について

定款が定める設立目的の一つである地元コミュニティとのパートナーシップという趣旨を踏まえ、役員会では今年度のフェスティバルに向け、当会より3万ドルの支援金を拠出することに賛同を得た。本会ではこの提案に基づき、支援金の拠出が可決された。また、商工会としてこの金額は最大金額枠に値するため、役員会で議論するうえでも、より事前に提案頂きたいとの意見も出た。なお、次年度以降の支援については、日米協会ともあらかじめ協議したうえで決めることとする。

#### 5.委員会関連事項

##### ①ジャパンフェスティバル委員会(浅野健一 委員長)

###### \*ジャパンフェスティバル 2025 について

ジャパンフェスティバルのボランティア募集は8月1日まで受け付けているので引き続き皆様のご協力を申し上げます。キッズ縁日での催し物内容は、金魚すくい、スーパーボールすくい、水ヨーヨー釣り、輪投げ、ガラポンなどが主要となり、9月6日(土)と7日(日)2日間の午前・午後のシフトがあると述べた。また、ミラーアウトドシアターでの宝塚公演は9月6日(土)の20時から21時10分(当初19時開始と案内されたが、照明の関係で変更)で、チケットは無料、ウェブサイトで9月1日午前10時から申し込み可能。

##### ②広報委員会(伊藤義治 委員長)

###### \*ガルフストリーム関連報告(資料①)

広報誌ガルフストリームのレイアウト変更について提案した。これまでは紙媒体での発行を前提としたレイアウトで読みづらさがあったため、今後は読みやすさを重視し、縦書きの導入と、フォント(Yu Mincho, Yu Gothic)、フォントサイズ等を変更する案を示した。レイアウト変更について、理事会の意見を踏まえて段階的に導入する案と、本日より即座に導入する案の2つを提示し、即座の導入が承認された。これにより、ガルフストリーム9月号より試験的に新スタイルでの発行をおこなうこととした。

##### ③企画・調査委員会(島田英樹 委員長)

###### \*8月の定例講演会開催案内

8月27日の定例常任委員会後、定例講演会を開催する。直前までエネルギー関係米企業の講演を調整していたが、今回のタイミングでは見送りとなった。決定がぎりぎりになることが予想されたので、依頼やキャンセルの融通が利くJETROの職員をバックアップとして準備しており、今回は見送りを踏まえJETRO ニューヨークの駐在員を講師とする。トランプ関税や日系企業の動向、その他関連情報などを話してもらう予定。講演会の案内はこれから急ぎ作成し、今週末か来週には送付したい。

#### ④生活・情報委員会（根本真樹子 委員長）

##### \*三水会クラブ「Back to School」の開催案内(資料②)

三水会クラブ主催の「Back to School セミナー」を7月24日午前10時から三水会で開催する。アメリカに来たばかりの家族を対象に、現地校や補習校に関する情報交換の機会を提供し、先輩ママたちの経験を基に情報交換するセミナーで、定員15組だがまだ余裕があるので、興味のある方はぜひ申し込みをお願い申し上げます。

##### \*三水会クラブ「古本市」の開催案内（資料③）

初めての試みとして、古本市を8月23日(土)午前10時から午後4時半、24日(日)午前10時から午後3時半と2日間の開催を予定している。毎年300人程度お越し頂く大きなイベントでもあり、混雑を避けるため今回も予約制を導入することにした。さらに多くの方にご来場頂きたい。

#### 6.事務局関連事項（富田妙子 事務局長）

##### ①会員消息（HP「[会員専用ページ](#)」参照）

7月15日現在の会員数は名誉会員11名、個人会員942名、準会員57名で、総会員数は1010名であった。

#### 7.その他（石川隆次郎 特命理事）

ヒューストン市は2025年10月27日から31日にかけて、台湾および東京を訪問するトレードミッションを検討中で、現在その準備が進められている。前半の2日半は台湾に滞在し、29日午後に東京入り、31日まで東京で公式行事を行う予定。団長はハリスカウンティのリナ・イダルゴ氏が務める見込みである。本件はGHPからの相談を受けてJASHが関与しており、JETROや中南米大使館との連携も見込まれている。JETROには日本企業の取りまとめを依頼する可能性があり、ヒューストンからの参加企業を増やしたい意向がある。ヒューストン商工会にも寄付という形での協力が求められる見通し。また、10月30日には東京でヒューストンの情報発信セミナーやネットワーキングイベントの開催が検討されており、集客、広報、現地運営などの支援を商工会に求める意向がある。3年前の市長訪日と同様の枠組みを想定しており、具体的な内容は今後詰めていく。ただし、同週には南東部会の東京開催が予定され、複数の州政府や都市(例:サンアントニオ、プレーノ)も訪日ミッションを計画中であることから、人手不足が懸念されている。このため、関係者には早期の日程確定と会場確保への協力が求められている。

以上。